

# T O P I C S &

トピックス&スポーツ

## いつ起こるかもしれない災害に備えて— 令和元年度白鷹町春季消防演習

6月2日、町消防団（平盛和団長以下668名）による春季消防演習が白鷹中グラウンドおよび荒砥仲町通りを会場に行われました。

春季演習は、団員の士気高揚と災害に備えた消防力および組織力の確立を目的として毎年行われており、部隊訓練のほか平成25、26年と2年連続で発生した豪雨災害を教訓に、水防訓練が披露されました。今年から全団員の活動服も更新され、団員の行動も例年に増して美しさが際立っていました。

荒砥仲町通りで行われた火災防ぎょ訓練は、実際の火災さながらの状況下で、俊敏な動きと迅速な放水、鎮火で周囲を魅了。その後、幼年消防クラブの愛真こども園の園児らが火の用心の誓いを披露しました。

また、演習の中では白鷹中学校および荒砥高校吹奏楽部による演奏が行われ、生徒らは連日の猛練習で磨きかけた素晴らしい演奏を披露しました。

### 部隊訓練



### 水防訓練



### 火災防ぎょ訓練



### 幼年消防クラブ（愛真こども園）



### 白鷹中吹奏楽部



### 荒砥高校吹奏楽部



## 花いっぱい園庭で遊ぼう！ 保育園で植栽活動

6月6日にさくらの保育園で、6月10日にひがしね保育園で植栽活動が行われました。

たくさんの花を目にした園児は目をキラキラと輝かせ、お気に入りの花を選んだ後はいよいよプランターに植える作業。家庭で花を植えたことがある園児は、はじめての植栽でポットがうまくはずれない友達に「モミモミするととれるよ！」とアドバイスする姿も見られ、みんなで力を合わせてオリジナルの寄せ植えが完成。最後はジョウロでやさしく水をあげました。

「これは私が植えたの！きれいでしょ？」とニッコリ。今年も園庭はきれいな花でいっぱいです。



お気に入りの花をやさしく手に取って植える園児たち

## 横綱めざして「はっけよーい、のこった！」 蚕桑小学校相撲大会

6月11日、蚕桑小学校相撲大会が行われ、児童たちは白熱した取組を披露しました。

長い歴史を持つこの相撲大会では、1年生から6年生までの児童が参加。学年ごと男女別でトーナメント戦を行い、その年の横綱を決定します。始まる直前まで友達同士でニコニコと話をしていた児童たちも土俵に入ると表情は一変。闘志をむき出しにして構え、開始の合図がかかると同時に勢いよく前へと立ち向かい、激しくぶつかり合いました。

この日のために練習を積み重ねてきた児童たちが見せる本気の取組に会場は盛んに湧き、決着がつくと健闘をたたえる大きな拍手が場内を包みました。



①力強く気迫いっばいで押し込んだ／②目標であった横綱の座をつかんだ児童たち



## あま〜いりんごができますように！ 鮎貝小学校でりんごの摘果作業

6月14日、鮎貝小学校の3年生によるりんごの摘果作業が箕和田地区のりんご農園で行われました。

摘果は、大きく甘いりんごを作るためには欠かせない作業でほとんどの児童が初めてとなる体験。「大きくてあま〜いりんごができるといいな！」と思いを込め、一つ一つ実を確かめながら丁寧に間引きを行いました。

秋の収穫までに葉摘み体験も行い、収穫前には文字を書いたシールを張り、一人一人オリジナルの文字入りりんごを収穫する予定です。



一つ一つ確認しながら摘果を行いました